

講義科目名称： オペレーションズマネジメント D5-D54-50 科目コード： 20600

英文科目名称： Operations Management

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年後期	3	2	選択
担当教員			
林 章浩			
添付ファイル			
講義概要	企業における生産活動において、東アジアを含めたグローバルな調達が広がり、原材料採取から生産・流通・販売・廃棄・リサイクルに至るまでグローバルなサプライチェーンが形成されている。オペレーションズマネジメントには、川上のサプライチェーン・マネジメントから生産工程を経て、川下の流通に至るまで広い範囲が含まれる。 本講座では、オペレーションズマネジメントに不可欠なエッセンスを取り上げ、企業における生産活動の全体像を概観することで、世の中にある製造業のあり方を理解する。 この科目は、CMMIコンサルティング分野の実務経験のある教員が担当する科目である。		
授業計画	1 ガイダンス 自己紹介、授業の進め方 2 物流の概念と本質 物流の意義、歴史、物流のアプローチ 3 物流システムの構成 (1) 輸送、保管、荷役 4 物流システムの構成 (2) 流通加工 5 物流システムの構成 (3) 在庫管理 6 物流制度とマネジメント 物流効率管理 7 物流関連データとシステム化 物流データの報告・収集・整理 8 物流ABCによる業務管理 Activity Based Costingの考え方 9 オペレーションズマネジメント 製品サービスを産出するオペレーションとは 10 オペレーションと生産 オペレーションにおける考え方 11 工程管理と生産計画・日程計画 オペレーションの計画と考え方 12 作業研究 無駄のない効率的な作業の研究 13 品質と信頼性 顧客要求を満たす品質やサービスのための品質管理 14 環境への影響とコスト管理 企業の生産活動と環境マネジメントへの取り組み 15 まとめ 嘘と本当 振り返り		
授業形態	原則として座学の講義とする。できるだけ毎回レジュメを配布するので、履修生は気づいたことをメモしながら受講してもらいたい。 アクティブラーニング：①12回、②12回、③0回、④0回、⑤0回、⑥0回 本講座の毎回の必須項目についてAL①、②を行う		
達成目標	・現代オペレーションズ・マネジメントに至った歴史的経緯、および今どうなっているかを理解する。 ・製造業における生産とオペレーションズ・マネジメントの基礎的な知識を習得する。		
評価方法・フィードバック	・受講態度、クラスへの貢献度、質問、発表などにより総合的に評価する ・クラス貢献度、発表、プレゼン資料、質問など ・原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する		
評価基準	「秀」：90点以上，「優」：80～89点，「良」：70～79点，「可」：60～69点，「不可」：59点以下		
教科書・参考書	・教科書 なし ・参考書 なし		
履修条件	日本語の新聞を読み、内容を理解できること		
履修上の注意	まずは講義を理解できる必要がある。		

準備学習と課題の内容	・本講義ではテキストを指定する代わりに，教科書に相当する内容をレジュメとして配布する． ・予習として，毎週1.5時間程度の時間をかけて，配布したレジュメを読んでおくこと ・復習として，毎週1.5時間程度の時間をかけて，配布したスライドを読み返すこと ・その他，日常の習慣として，日経新聞の左面の記事を全て読むことを勧める．
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:10%, 関心・意欲:10%, 態度:20%, 技能・表現:30%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	

教職に関する科目と
教科又は教職に関する科目